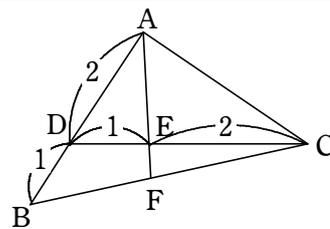


ベクトル (5) 2直線の交点②

- 1  $\triangle ABC$ において、 $AB$ を $2:1$ に内分する点を $D$ 、 $DC$ を $1:2$ に内分する点を $E$ とし、直線 $AE$ と直線 $BC$ の交点を $F$ とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$ 、 $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とするとき、 $\overrightarrow{AF}$ を $\vec{b}$ 、 $\vec{c}$ を用いて表せ。



- 2  $\triangle ABC$ と点 $P$ に対して、等式 $6\overrightarrow{AP}+3\overrightarrow{BP}+2\overrightarrow{CP}=\vec{0}$ が成り立っている。
- (1) 点 $P$ の位置をいえ。
  - (2) 面積比 $\triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$ を求めよ。

3 平面上の  $\triangle ABC$  と点  $P$  が  $2\overrightarrow{PA} + 3\overrightarrow{PB} + 4\overrightarrow{PC} = \vec{0}$  を満たしているとする。このとき、

$\overrightarrow{AP} = \frac{\boxed{\text{ア}} \overrightarrow{AB} + \boxed{\text{イ}} \overrightarrow{AC}}{\boxed{\text{ウ}}}$  であるから、直線  $AP$  と辺  $BC$  の交点を  $D$  とすると

$BD : DC = \boxed{\text{エ}} : 3$  であり、 $\overrightarrow{AP} = \frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}} \overrightarrow{AD}$  となる。

このとき、面積比  $\triangle ABP : \triangle BCP : \triangle CAP = \boxed{\text{キ}} : 2 : \boxed{\text{ク}}$  である。